

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年11月30日(2017.11.30)

【公表番号】特表2016-536864(P2016-536864A)

【公表日】平成28年11月24日(2016.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2016-065

【出願番号】特願2016-521751(P2016-521751)

【国際特許分類】

H 04 W 16/14 (2009.01)

【F I】

H 04 W 16/14

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月19日(2017.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

問い合わせジオロケーションデータベース(G L D B)デバイスにおいて実施される共用スペクトル管理のための方法において、

潜在的な犠牲者G L D Bデバイスを潜在的な犠牲者G L D Bデバイスのリストから選択するステップであって、前記リストは前記問い合わせG L D Bデバイスへアクセス可能なすべてのG L D Bデバイスのサブセットを含む、ステップと、

前記潜在的な犠牲者G L D Bデバイスに、問い合わせメッセージを送信するステップと、

前記潜在的な犠牲者G L D Bデバイスから、前記潜在的な犠牲者G L D Bデバイスが実際の犠牲者G L D Bデバイスであるかどうかを示す問い合わせ応答メッセージを受信するステップと

を備えることを特徴とする方法。

【請求項2】

前記問い合わせメッセージは、前記問い合わせG L D Bデバイスによって管理される少なくとも1つのデバイスによる、与えられたロケーションにおける意図されたスペクトル使用に関するスペクトル情報を含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記問い合わせメッセージは、前記問い合わせG L D Bデバイスによって管理される少なくとも1つのデバイスのデバイスパラメータおよび利用可能なチャネルについての動作パラメータを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記問い合わせ応答メッセージは、前記潜在的な犠牲者G L D Bデバイスによって保護されるインカンベントが前記問い合わせG L D Bデバイスによって管理されるデバイスの干渉範囲内に存在するかどうかを示すことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記問い合わせ応答メッセージは、前記問い合わせG L D Bデバイスによって管理されるデバイスが前記潜在的な犠牲者G L D Bデバイスによって保護されるインカンベントに対して潜在的に干渉することを示すことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記問い合わせ応答メッセージは、前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスと少なくとも 1 つの他のデバイスとが、前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスによって保護されるインカンベントと累積的に干渉することがあることを示すことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスが実際の犠牲者 G L D B デバイスであることを前記受信された問い合わせ応答メッセージが示している条件で、前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスの動作パラメータを変更するステップ

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスからの干渉を潜在的に受けことがある前記実際の犠牲者 G L D B デバイスによって管理されるインカンベントに関する干渉情報を、前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスから要求するステップと、

前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスから前記要求された干渉情報を受信するステップと、

前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスによって管理される前記インカンベントとの干渉を回避するために、前記受信された干渉情報に基づいて、前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスの動作パラメータを変更するステップと

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記動作パラメータは、チャネル、帯域、周波数、またはスペクトルを含むことを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスからリソース要求を受信するステップと、

前記要求されたリソースが制限内に含まれるかどうかを決定するステップと、

前記要求されたリソースが前記制限内に含まれない条件で、前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスに、少なくとも 1 つの動作パラメータを割り当てるステップと、

前記要求されたリソースが前記制限内に含まれる条件で、前記リソース要求に基づいて、転送メッセージを前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスに送信し、前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスから少なくとも 1 つの許容可能な動作パラメータを受信し、前記受信された少なくとも 1 つの許容可能な動作パラメータに基づいて、前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスに少なくとも 1 つの動作パラメータを割り当てるステップと

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

共用スペクトル管理のための問い合わせジオロケーションデータベース (G L D B) デバイスにおいて、

プロセッサを備え、

潜在的な犠牲者 G L D B デバイスを潜在的な犠牲者 G L D B デバイスのリストから選択し、前記リストは前記問い合わせ G L D B デバイスへアクセス可能なすべての G L D B デバイスのサブセットを含んでおり、

送信回路を経由して、問い合わせメッセージを前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスに送信し、

受信回路を経由して、前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスが実際の犠牲者 G L D B デバイスであるかどうかを示す問い合わせ応答メッセージを、前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスから受信するように構成されたことを特徴とする問い合わせ G L D B デバイス。

【請求項 12】

前記問い合わせメッセージは、前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理される少

なくとも 1 つのデバイスによる、与えられたロケーションにおける意図されたスペクトル使用に関するスペクトル情報を含むことを特徴とする請求項 1 1 に記載の G L D B デバイス。

【請求項 1 3】

前記問い合わせメッセージは、前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理される少なくとも 1 つのデバイスのデバイスパラメータおよび利用可能なチャネルについての動作パラメータを含むことを特徴とする請求項 1 1 に記載の問い合わせ G L D B デバイス。

【請求項 1 4】

前記問い合わせ応答メッセージは、前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスによって保護されるインカンベントが前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスの干渉範囲内に存在するかどうかを示すことを特徴とする請求項 1 1 に記載の問い合わせ G L D B デバイス。

【請求項 1 5】

前記問い合わせ応答メッセージは、前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスが前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスによって保護されるインカンベントに対して潜在的に干渉することを示すことを特徴とする請求項 1 1 に記載の問い合わせ G L D B デバイス。

【請求項 1 6】

前記問い合わせ応答メッセージは、前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスと少なくとも 1 つの他のデバイスとが、前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスによって保護されるインカンベントと累積的に干渉することがあることを示すことを特徴とする請求項 1 1 に記載の問い合わせ G L D B デバイス。

【請求項 1 7】

前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスが実際の犠牲者 G L D B デバイスであることを前記受信された問い合わせ応答メッセージが示している条件で、前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスの動作パラメータを変更することをさらに含むことを特徴とする請求項 1 1 に記載の問い合わせ G L D B デバイス。

【請求項 1 8】

前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスからの干渉を潜在的に受けたことがある前記実際の犠牲者 G L D B デバイスによって管理されるインカンベントに関する干渉情報を、前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスから要求することと、

前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスから前記要求された干渉情報を受信することと、前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスによって管理される前記インカンベントとの干渉を回避するために、前記受信された干渉情報に基づいて、前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスの動作パラメータを変更することとをさらに含むことを特徴とする請求項 1 1 に記載の問い合わせ G L D B デバイス。

【請求項 1 9】

前記動作パラメータは、チャネル、帯域、周波数、またはスペクトルを含むことを特徴とする請求項 1 8 に記載の問い合わせ G L D B デバイス。

【請求項 2 0】

前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスからリソース要求を受信することと、

前記要求されたリソースが制限内に含まれるかどうかを決定することと、前記要求されたリソースが前記制限内に含まれない条件で、前記問い合わせ G L D B デバイスによって管理されるデバイスに、少なくとも 1 つの動作パラメータを割り当てることと、

前記要求されたリソースが前記制限内に含まれる条件で、前記リソース要求に基づいて、転送メッセージを前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスに送信し、前記潜在的な犠牲者 G L D B デバイスから少なくとも 1 つの許容可能な動作パラメータを受信し、前記受信された少なくとも 1 つの許容可能な動作パラメータに基づいて、前記問い合わせ G L D B デ

バイスによって管理されるデバイスに少なくとも 1 つの動作パラメータを割り当てること

をさらに含むことを特徴とする請求項 1 1 に記載の問い合わせ G L D B デバイス。